

同窓会会報

第18号

御挨拶

同窓会会长 高田菊平



時代時代をながめるとき、今はまさに一年一年が、過去の三年に相当するほどのスピードで変化していると云われ、その為に常に情報に対するアンテナを四方八方にはりめぐらしていなければならぬ時でありまし

ょう。

会員の皆様におかれましても、この情報のアンテナをいかに広くもつてあるかが要求されることになりましょう。私共の同窓会の会員は既に三万余名になり、そのひとりひとりの情報をどれだけ有効に活用できるかを考えるときであらうと思います。

(平成元年一月十五日)

高田菊平氏の紹介

氏は、母校第一期生で、昭和五十三年四月より、故玉津徳太郎先生の後を受け承ぎ、第三代目の同窓会会長をつとめています。

現在、三島市梅名にある、ニューデルタ工業株式会社社長として大変に多忙な日々を送っています。

また、趣味は、テニス・ゴルフ・山登り、旅などと広く、その温厚で誠実な人柄とともに、今や、母校同窓会にとって、なくてはならない人となっています。

会員の皆様におかれましては、ますます御活躍のこととお慶び申し上げます。おかげ様で同窓会活動もつづがなく歩みを続けておりますこと、大変ありがたく厚く御礼申し上げます。

今年早々大行天皇の崩御という歴史の一ページに遭遇し、それぞれに感慨をもたれることと思ひます。そして平成元年という新しい年号になり、さらに気持をひきしめてこの元年の出発にあたって、決意をあらたにしたことと思ひます。今年の景気は好況のもとに推移するだらうと云われていますが、変化の激しい年であると感じております。

それぞれの立場にたつて、その

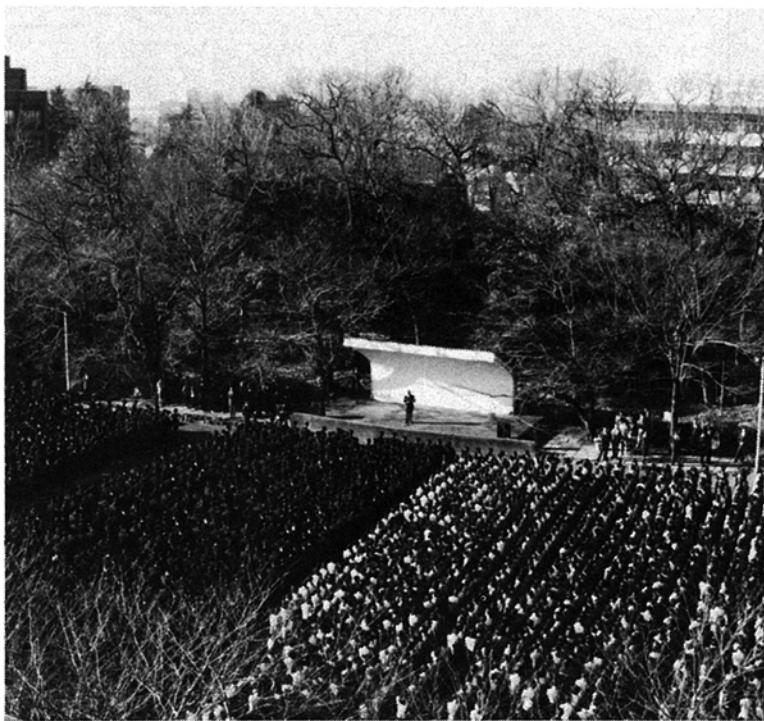
平成元年3月1日
静岡県三島市文教町2
日大三島高校同窓会 発行

十四号館の建設へ

三十周年を記念して、念願の校歌ができ、平成元年一月三十日、母校にて発表されました。作詞は、日本大学総長、高梨公之先生、作曲はもと日本大学国際関係学部十四号館が建設されます。平成元年二月十日、その地鎮祭がとりおこなわれました。

母校に校歌できる

三十周年を記念して、念願の校歌ができ、平成元年一月三十日、母校にて発表されました。作詞は、日本大学総長、高梨公之先生、作曲はもと日本大学芸術学部学部長、貴島清彦先生です。



全校集会 一野外ステージ

御

挨

拶

校長 北岡 功



ほ決まり、また大きくなれば、高校本館とも申すべき第14号館の建設も着工の見通しがつき、加うるに、本校独自の校歌の制定も実現、発表の運びとなりましたことを、ここに改めてご報告申しておきます。

申しあげる次第であります。このたび新入会員として皆さまのお仲間入りをさせていただく一七六名の第二十九期生をふくめ、本校同窓会のご発展を心よりお祈り申しあげます。

申しあげる次第であります。このたび新入会員として皆さまのお仲間入りをさせていただく一七六名の第二十九期生をふくめ、本校同窓会のご発展を心よりお祈り申しあげます。

本校の創設三十周年を期して、このたび皆さまの『日本大学三島高等学校同窓会名簿』が集大成、以て発行の運びとなりましたことを、まずもつてお祝い申しあげます。

翻つて、私どもの創設三十周年

記念式典は、ご案内申しあげましたとおり、当時、大行さまのご不例の渦中の故をもつて延期することとなり、今日に及んでおりますことを、ここに改めて中間報告させていただきます。

なお、宗家の大学創立百周年の大慶事につきましては、新元年のもと、盛大に（只今のところ十月四日に）とり行なわれますことをも付記させていただきます。

前号にも触れさせていただきましたが、この宗家の大祝典にかかる、本校での温故知新をモットーとした独自の振興対策も着々と進み、制度の上では、特進コースの設置をはじめ、制服の改訂もほ

ります。

創業と守成といずれか難き」と投げかけた唐の太宗の故事から申しますならば、守成に重きをおいたようではありますが、まだ半世紀にも充たぬ本校のこと、創業すなわち創設当初のあのやみくもバラック時代の攻めの氣負いを以て、振興また振興に重点をおく所存でありますのでよろしくご支援のほどお願い申しあげます。

もちろん、三十年なりに築いた文武それぞれの伝統を反省の基盤としての、”今日に甘えるな、あぐらをかくな”を合言葉として、明日の教育に臨んでまいりますで、今後とも隔意なき直言を本校にお寄せくださいますようお願い

三つの国寄る
築きし歴史
伝統
心を磨き身を鍛え
日に日新たに進みなん
ああ 日大三島
その名に榮え
あれ

二
要衝に
千余年
学の道
心を磨き身を鍛え
日に日新たに進みなん
ああ 日大三島
その名に榮え
あれ

四
掲ぐる旗は
世界に開く
人種ここに
手を組みて
平和の鐘を打ち鳴らす
世紀の望み遂げましや
ああ 日大三島
字内に榮え
あれ

母校に校歌できる！

三

真白き富士の嶺を負いて
花咲きほこる三島路に
聳えて高きわが母校
師弟集いて燃ゆる血に理想の星を目指さん
ああ 日大三島
われらに榮えあれ

一
正義の泉智恵の水
汲みてつちかう青春の
夢その時に及びなば
大空高く描かなん
ああ 日大三島
ゆくてに榮えあれ

二
三

申しあげる次第であります。このたび新入会員として皆さまのお仲間入りをさせていただく一七六名の第二十九期生をふくめ、本校同窓会のご発展を心よりお祈り申しあげます。

申しあげる次第であります。このたび新入会員として皆さまのお仲間入りをさせていただく一七六名の第二十九期生をふくめ、本校同窓会のご発展を心よりお祈り申しあげます。

申しあげる次第であります。このたび新入会員として皆さまのお仲間入りをさせていただく一七六名の第二十九期生をふくめ、本校同窓会のご発展を心よりお祈り申しあげます。

日本大学三島高等学校校歌

高梨公之 作詞
貴島清彦 作曲

Moderato 4/4

ましろき ふじのみ
ねをおいて はなさき ほごるみし まじに
そ一びえてたかき わが一ぱこ
う し ていつど いでも ゆるちに
りそうの ほしをめざ さなん ああに 一ちだいみし
ま われらには 一え 一あれ

新入会員を迎える

歓迎のことば

副幹事長 藤幡俊量（十一期）



皆様、御卒業おめでとうございます。と共に、同窓会入会本当におめでとうございます。

あなた達年代ほど、現代のありとあらるる動きを、心身で感じている年頃はないでしょう。人間となり人前で堂々と述べることのできる……そんな年代でもあります。

我々（先輩）や、現代社会で活

二十九期生クラス幹事

三の一
三の二
三の三
三の四
三の五
三の六
三の七
三の八
清多香長増矢栗吉
水田川坂田田原田
将高公洋教智敬篤
仁広一光三浩久政

三の九
三の十
三の十一
三の十二
三の十三
三の十四
三の十五
矢川山里黒安田杉
野口本村川藤澤本
正貴修良博
裕弘司太史毅篤一

三のA
三のB
三のC
三のD
三のE
三のF
三のG
三のH
J
高藤増江旭佐久保田小澤
田村田島藤林敬京
裕晴桂智浩由有子
子美子百合子

躍するビジネスマン、学者、芸術家その他の分野の人々もかつては、皆このような期間があつたのです。つまりこの年頃は、成長プロセスというよりエネルギーッシュな社会活動の源点なのです。源点は太陽のように総合力を秘め、同時に混沌としているのです。皆様は今まさに、あの燃えさかっている真夏の太陽なのです。

私が高校を卒業する時、または大学一年に入ろうとしていた時、今思い出すと、やはり生活とか、友人とかは今（三十六才）に比べて多少は安定していなかつたかな？と思う程度でした。大学へ行くについては、我々の大部分がそうな様に、付属からというすばらしく元気に飛び出していった事を覚えてています。

（開晴堂・代表取締役）
皆様、ぜひ社会に出る人、大学へ進む人も同じ気持ちでぜひ同窓会に御尽力下さる事を念じまして筆をおろします。

新たなる時代とともに 新入会員の言葉

江口智子（二十九期）



高校生として修得すべき過程を全て終了し、本校の教えを胸に、第二十九期生として同窓会に入会させて頂く事になりました。

本年度は、本校創設三十周年という記念すべき年であり、またそれをこれからものへと発展させると共に本校を築き上げて下さった多勢の先輩方の伝統を受け継ぎ、それをこれからものへと発展させること、昭和と共に歩んで来たこの同窓会も、私達二十九期生を持って幕を閉じ新たなる元号と共にこれから進展していくのでありますよ

う。そういう事も含めまして本校同窓会に入会させて頂く事を大変喜ばしく感じております。

私達の中には、学生として新たな知識を求め進もうとしている者もいれば、これから厳しい社会の中へ足を運ぼうとしている者もあります。このように個々それぞれが違った道を歩もうとしていますが、

そのそれぞれの道には多くの壁や迷い道があるでしょう。よく「道に迷つて初めてその道を覚える。」という格言を耳にします。私達たった十八年という人生の中でも、この格言の言わんとしている所にぶつかった事が幾度ありました。そして、その迷いを解いてくれたのは、多くの仲間でした。これから先、私達は様々な地域社会で大成し、御活躍していらっしゃる先輩方をはじめとする多くの仲間達に支えられて、更に長い人生を進んで行きます。その私達の歩みを先輩方の暖かい眼で見守つて頂ければ幸いと思つております。

本校で学んだ英知を胸に留め、日大三島高校の卒業生として恥じぬよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

クラス幹事を中心に！

上にのせましたように、各クラスの幹事が決まりました。いつの時代になつても、クラス仲間はよきものです。ぜひとも、この幹事さん達と連絡をとりあって、これから的人生をより楽しく歩まれることを願っています。

運動部 —



力走するスケート部

活躍する部活動

全国高校総合体育大会全国大会

〔全国大会出場部〕

水泳部(男子・女子),卓球部(男子),庭球部(男子・女子)柔道部

スケート部(男子・女子)

〔成績〕

- ・団体(学校対抗) 7位 水泳部(男子)
 - ・個人 2位 水泳部(男子)…宮代達也(100m平泳)
伴野・宮代・中谷・藍川
(400mメドレーリレー)
 - 3位 水泳部(男子)…中谷弘幸(200mバタフライ)

◎全国高校総合体育大会県大会

- ・団体 総合優勝 スケート部(19連勝)
総合優勝 水泳部(男子・女子)
優勝 庭球部(女子)

◎全国高校総合体育大会東海大会

[東海大会出場部] 水泳部(男子・女子), 卓球部(男子), テニス部(男子・女子), 体操部(女子), 剣道部(男子), 柔道部

〔成績〕

- ・団体(学校対抗) 準優勝 テニス部(女子)
3位 水泳部(男子・女子), 柔道部
 - ・個人 1位 水泳部(男子)…藍川健一(100m自由)
宮代達也(100m平泳)
水泳部(女子)…南雲珠江(200m・400m個人メドレー)
柔道部……………菊地 健

第3回 京都

〔出場部〕水泳部(男子・女子)、卓球部(男子)、テニス部(男子)、柔道部

◎新人大会県大会

新大陸

- ・団体(学校対抗) 優勝 水泳部(女子), テニス部(男子)
 準優勝 水泳部(男子), テニス部(女子) 体操部(女子)

◎第24回「白川オリンピック派遣選手選考会

[第24回 プールオリンピック 旅館選手選考会]
[出場者] 水泳部(男子)…宮代達也, 服部幸治,
藍川健一, 中谷弘之
水泳部(女子)…大嶽まゆみ, 中村あつ子,
伊藤可奈子, 吉澤珠江

伊藤可奈子, 南雲珠江
◎今日本ジャニーズ女優選手権大會

3位 日置映正(ダブルス) ベスト8 日置映正(シングルス)

同窓会の歩み

文 化 部

早いもので、熱海支部は高井（一期）、谷口（二期）先輩を中心として、発足以来今年度で、十八回目の総会を迎えるとしております。当支部は組織が広範囲である為、全体的活動は、思うようにまかせませんが、少規模ながらでも、毎年、ボーリング大会、総会等を通じ、親睦を深めており、会

員相互も、日常より親しくお付き合いをしております。

新支部長より — 热海 —

米倉 久高（機三期）

その他、活躍したものがたくさんあります
紙面の都合で割愛しました。

〈写真部〉

- ◎第56回ニコンカメラトップアイコンテスト
トップアイ賞(全国1位) 杉山彰一
 - ◎第12回全国高校野球フォトコンテスト
優秀学校賞受賞(全国1位)
 - ◎'88高校生による21世紀映像展映像写真コンテスト
ゴールド賞(全国2位) 勝又教三
 - ◎第16回キャノンヤングヤングフォトコンテスト
優秀賞(全国2位) 杉山彰一

〈美術部〉

- ◎第71回全国高校野球選手権大会ポスター原画コンクール
学校特別賞受賞
 - ◎第22回全国高校生ポスター絵画写真映像コンクール
学校特別賞・文部大臣奨励賞・個人特別賞(全国1位)
石井浩明・工藤高弘

〈囲碁将棋部〉

- ◎第19回静岡県高校将棋選手権大会 団体戦優勝
〈放送部〉

◎第35回

- ◎第33回NTHR研究発表部門 「熱戦を伝えるために」

研究部

- ◎第26回全国高等学校放送コンクール
ラジオ制作ドラマ・ドキュメントの部

「準備できていますか」

- 全国優秀賞（全国2位）
映像制作ビデオ部門

映像制作ビデオ部門
「MEのともだち」全国佳作（全国3位）

- ◎第18回高等学校ラジオ作品コンクール

◎第18回高等学校ナンバーワン作品コンクール
アナウンス部門 優秀賞(全国1位)

- ◎第5回マックロードキャンパスビデオ

ビデオ部門 テーマ賞(全国3位) 斎

- ◎第8回静岡県高校放送新人コンクール
アナウンス部門 優勝 鈴木順子

五六年	五五年	五四年	五三年	五二年
一一一九六五 五月月二〇〇月月月 一七月月月二二二一 四日一五四〇一四五 日〇日日日日日日 日	一一一九八七 月一〇〇月月月月 一月月月月二二五三 六二三二一四三日一 日二日四〇日日日日 日	一一一九九四 月〇月月月月月月 一月二二七三二五 九一三六三日〇一日 日〇日日日日日日 日	一一一七四三 月二一〇月月月月 一月月月月二二九一 八一二一四九日日 日五七日〇日日日 日	一一一九八五 月月二〇〇月月月 二一月一四九一 六二一八日日日 日日七〇日日
初職忘工田小田三橋な奈総熱北会第む記奨第三工職工工第田工納第の工工田副總熱会第記第工工工納三総田熱三 代業年業方田方島和る 良会海岡報二た念励二島業域業業七方業涼一両業業方会会海報一念一業業業涼島会方海島 機部会電支原支支彦 橋支功第〇め講金〇支土部電機期支科船六日科科支長、支第九講九電機土船支、支支支期 械機械会、氣部支部部先 三郡先九回に演授期部会氣械生部幕、・に募四部二部部八回演期氣械木、部母部部部 玉科、三科總部總生卒、与生継科、科科同總集沼一も集科人校卒八年科科沼校校總長、長同卒亨 津同中島島同會送別 德窓学フ窓、雅姫沙代、(三島桜屋) 太会校ラ、(母本羅)、(母本羅) 先母校ハ、(母本羅) 生母校ハ、(母本羅) 逝去	第一第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第 業年業方田方島和る 良会海岡報二た念励二島業域業業七方業涼一両業業方会会海報一念一業業業涼島会方海島 機部会電支原支支彦 橋支功第〇め講金〇支土部電機期支科船六日科科支長、支第九講九電機土船支、支支支期 械機械会、氣部支部部先 三郡先九回に演授期部会氣械生部幕、・に募四部二部部八回演期氣械木、部母部部部 玉科、三科總部總生卒、与生継科、科科同總集沼一も集科人校卒八年科科沼校校總長、長同卒亨 津同中島島同會送別 德窓学フ窓、雅姫沙代、(三島桜屋) 太会校ラ、(母本羅)、(母本羅) 先母校ハ、(母本羅) 生母校ハ、(母本羅) 逝去	第一第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第 業年業方田方島和る 良会海岡報二た念励二島業域業業七方業涼一両業業方会会海報一念一業業業涼島会方海島 機部会電支原支支彦 橋支功第〇め講金〇支土部電機期支科船六日科科支長、支第九講九電機土船支、支支支期 械機械会、氣部支部部先 三郡先九回に演授期部会氣械生部幕、・に募四部二部部八回演期氣械木、部母部部部 玉科、三科總部總生卒、与生継科、科科同總集沼一も集科人校卒八年科科沼校校總長、長同卒亨 津同中島島同會送別 德窓学フ窓、雅姫沙代、(三島桜屋) 太会校ラ、(母本羅)、(母本羅) 先母校ハ、(母本羅) 生母校ハ、(母本羅) 逝去	第一第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第 業年業方田方島和る 良会海岡報二た念励二島業域業業七方業涼一両業業方会会海報一念一業業業涼島会方海島 機部会電支原支支彦 橋支功第〇め講金〇支土部電機期支科船六日科科支長、支第九講九電機土船支、支支支期 械機械会、氣部支部部先 三郡先九回に演授期部会氣械生部幕、・に募四部二部部八回演期氣械木、部母部部部 玉科、三科總部總生卒、与生継科、科科同總集沼一も集科人校卒八年科科沼校校總長、長同卒亨 津同中島島同會送別 德窓学フ窓、雅姫沙代、(三島桜屋) 太会校ラ、(母本羅)、(母本羅) 先母校ハ、(母本羅) 生母校ハ、(母本羅) 逝去	第一第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第第会記第第橋工納總第 業年業方田方島和る 良会海岡報二た念励二島業域業業七方業涼一両業業方会会海報一念一業業業涼島会方海島 機部会電支原支支彦 橋支功第〇め講金〇支土部電機期支科船六日科科支長、支第九講九電機土船支、支支支期 械機械会、氣部支部部先 三郡先九回に演授期部会氣械生部幕、・に募四部二部部八回演期氣械木、部母部部部 玉科、三科總部總生卒、与生継科、科科同總集沼一も集科人校卒八年科科沼校校總長、長同卒亨 津同中島島同會送別 德窓学フ窓、雅姫沙代、(三島桜屋) 太会校ラ、(母本羅)、(母本羅) 先母校ハ、(母本羅) 生母校ハ、(母本羅) 逝去
藤入会式(母校八号館講堂) 藤郁夫氏(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂)	藤入会式(母校八号館講堂) 藤郁夫氏(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂)	藤入会式(母校八号館講堂) 藤郁夫氏(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂)	藤入会式(母校八号館講堂) 藤郁夫氏(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂)	藤入会式(母校八号館講堂) 藤郁夫氏(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂) 藤入会式(母校八号館講堂)
金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂)	金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂)	金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂)	金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂)	金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂) 金井誠君(母校八号館講堂)
山谷親平氏 卒業生一四九名「現代を考える」	山谷親平氏 卒業生一四九名「現代を考える」	山谷親平氏 卒業生一四九名「現代を考える」	山谷親平氏 卒業生一四九名「現代を考える」	山谷親平氏 卒業生一四九名「現代を考える」

母校によせて

母校の思い出

久保田光(一期)



卒業以来三十年余りを経過し母校の思い出を綴るとき、背筋の直なるを似つて寄稿させていただだきます。

当時私は、一年D組で担任は田上先生でありました。薄いブルーのスーツが非常によくお似合いで、どこか世間知らず(失礼)のおぼつかないところが、教壇での挨拶をされながちやまが、ことを思い出します。その後知人友人ができ、学生数が少なかつたためか、殆んどの先生、生徒と親しくお話ししができ、学業生活の最も充実した日々を送らせていただいたことを記憶しております。なにかもう、母校の現在同窓会長であります高田菊平氏には、現在のところおつきあいはできず、遠くで

恐る恐るお声を拝聴していたものでした。職員室も少人数のためか、非常に広く感じ角田校長をはじめ、各先生方の威厳のある言葉には、父親以上の親近観と恐怖感を抱いていたものです。この意味で、当時三島学園の校風を創るという意欲に、先生、生徒が一丸となつて頑張つたものと推察いたします。

各生徒も他校に見られぬ程の人の好さを心情としていたために、例えば、足洗い場に置いた腕時計などは、誰かが片付けなければ、いつまでも置いてあり、時計の跡がほこりでできているというような、今思えば考えられないような優雅な学園生活でありました。卒業以来、先輩後輩の深い絆のうえに親密感を加えて各期の方々とおつきあいさせていただいておりましたが、この意味で、当時母校の先生方や我々の意志が、今も生きています。

つれづれに思い出を記しました。今年は新しい年号が「平成」となり、何を意味するかは、我々の今後の活動で決まります。

在校生はもとより諸先生方をあわせて母校のより良き発展をお祈り申し上げます。

私が日本大学三島高等学校を卒業して、早いもので、十五年の月日がたちました。

石井彰（十四期）

保田事務所
代表取締役

私が日本大学三島高等学校を卒業して、早いもので、十五年の月日がたちました。

入学当時は四千人を越す生徒数に驚き、目を白黒した事を憶えています。高校生活で一番印象に残つていますのは、なんといつても所属クラブの部長に選ばれた事です。私は写真部に所属していましたが、部員数60～70人と大所帯で、未熟者の私にとって、クラブをまとめるに大変苦労した事を憶えています。しかし、その苦労がその後の私の人間形成において、非常に役に立つていると思います。その時にお世話になりました先生、先輩そして同期の部員に感謝したいと思います。

また、もう一つの思い出は、柄にもなく、文化系のクラブの代表部長に選ばれ、新入生が入学した時に、体育館で文化系のクラブの紹介をした時に、足は震え、声は上擦り、冷や汗をかいたことです。何はともあれ、高校生活の三年間は私にとりまして非常に思い出深い月日でした。

(第一段ボール株) 常務取締役

常務取締役

「春風を以テ

人に接す

田中 哲雄（一期）



昭和三十三年四月、桜花咲き誇る頃、吳日大総長、角田校長をはじめ、A組～E組(以下順に)高杉、中神、谷口、田上、田中、各先生方の他、多数の学校関係者に迎えられて入学式が挙行された。当時は校舎、大講堂、体育館も木造であつたが、全て綺麗に整備され、希望の森思素の森の木々、良く手入れされた緑の芝生、小鳥の囀りと共に、心地良い春風が我々を迎えてくれた。小生はD組で田上先生が担任であった。同輩の教育にあたつて、厳しく真剣な中にも各個人の人格

を尊重し、平等に春風を以て人に接して下さった。爾来、三十年「春風人以接」を小生の座右の銘として、大過なく過して來たが、未だ先生の御至誠には足元にも及ぶ事ができない。先生に御叱りを受けた時も、心温かく説諭されるので、反抗期でもあつた同期の誰もが自然に頭を垂れ、全面的に自己反省したものであつた。頭髪が薄くなつた者、白髪混りの者の同期が集

御逝去され、時代の推移を感じさせるが、同様に春風を以て迎えて下さった各担任の諸先生方が、今も御健在であられるのが嬉しい限りであり、正門を入ると校庭も校舎も往時を偲ばて、いつでも春風を持って迎えくれる母校でもある次第です。



(三)愛建築設計事務所

昭和六十三年度 事業報告

六二年	六三年	六四年
九日	一〇日	一一日
九月	十月	十一月
三月	三月	二月
五日	一日	九日
日	日	日

- 一、総会
十月一日 「プラザホテル」

二、幹事会
中止

(一)三月二十二日 「樽」

○総会の件

○母校創設三十周年記念の件

○会報三十周年記念号の件

○名簿発行経過報告

(二)六月二十四日 「不二美」

○名簿作成の件

○会報三十周年記念号の件

○総会の件

○納涼船の件

○九月十日 「プラザホテル」

○総会の件

(三)三月一日

同窓会入会式の件

○会報発行の件

三、事業
(一)七月十九日

○会報 創設三十周年記念号 発行

○会員名簿発行

(二)二月二十五日 「母校八号館」

○第二十九期卒業生 同窓会入会式

○記念講演会

阪神タイガース球団 田宮謙次郎氏
「道は拓ける」

支部名	氏名	住所	T	E	L
三島	久保田光	駿東郡清水町柿田九	(○五五九)七一一九二二		
田方	山田守宏	田方郡大仁町立花台七四九一三七	(○五五八)七六一五〇〇二		
沼津	今井信之	沼津市市場町一〇一	(○五五九)三一一七八七八		
御殿場	武藤康徳	御殿場市新橋一九七六	(○五五〇)八二一一二八四		
裾野	勝又国佳	裾野市深良一五五一	(○五五九)九七一一三九二		
富士	西村雅幸	富士市横割六一一二一五	(○五四五)六一一五一七五		
富士宮	秋山一雅	富士宮市浅間町四一一五	(○五四四)二六一三八四八		
清水	久保田容弘	庵原郡富士川町岩淵七八一三三	(○五四五)八一一〇八八八		
静岡	松下悟	島田市横井四一一一三	(○五四二)四五一八三一五		
熱海	米倉久高	熱海市清水町九一二	(○四五七)八一一三〇九三		
小田原	川口功一	小田原市東町四一一〇一一	(○四六五)三四一〇四六四		

- 母校創設三十周年記念の件
○名簿発行経過報告
(四) 九月二十七日 「櫻」
○総会の件
(五) 十二月三日 「グレース」
○名簿発行終了報告
○同窓会入会式の件
○会報発行の件
(六) 平成元年二月十日 「櫻」

